SRC 自主調査の調査結果について

大阪府北部地震における訪日外国人旅行者の避難行動に関する調査

■調査の背景

2018年6月18日7時58分頃に発生した「大阪府北部地震」(最大震度6弱)において、当時近畿 圏に滞在していた訪日外国人旅行者が「どのような行動をとったか」「避難時に困ったことは何か」などを 明らかにし、今後、さらに増加が見込まれる訪日外国人旅行者に対する災害発生時の情報発信方法や、受入 環境のあり方を探ることを目的として、調査を実施しました。

本調査は、調査目的をご理解いただき、関西空港駅で調査を実施することについて迅速なご判断をいただいた、**南海電気鉄道株式会社様**のご協力により実現しましたことを、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

■調査の概要

・調査地点:南海電鉄 関西空港駅(調査協力:南海電気鉄道株式会社)・調査対象:2018年6月18日に近畿圏に滞在した訪日外国人旅行者

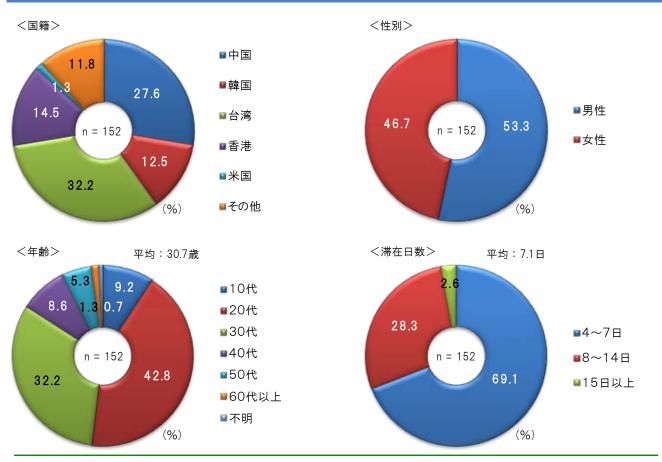
・調査方法:外国語の話せる調査員による質問紙を用いた面接聞き取り調査

・調査内容: 地震発生時の行動/宿泊施設の避難誘導について/地震発生時に困ったことなど

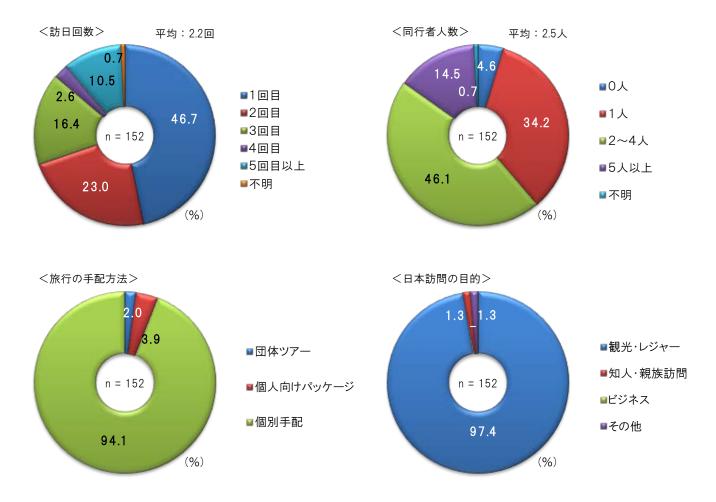
• 有効回答: 152 サンプル

•調査日 : 2018年6月21日(木)

◆対象者の属性

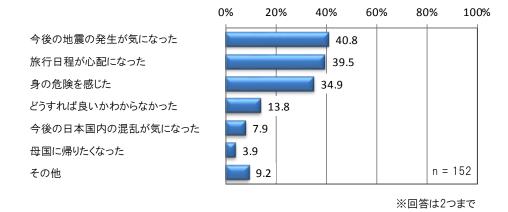


調査結果

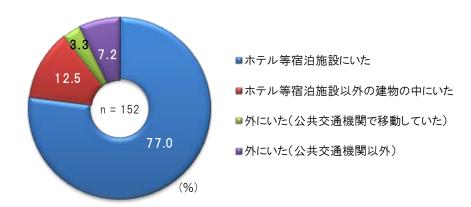


◆地震発生時の行動について

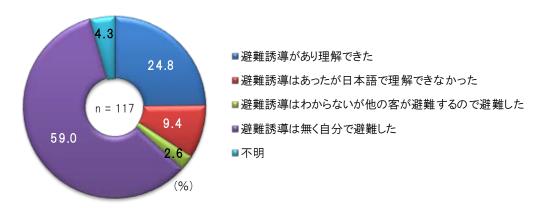
<地震発生時にどのように思ったか>



<地震発生時にしていた行動>

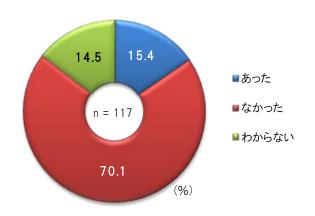


<滞在中の宿泊施設での「避難指示の誘導」の有無と「理解」>



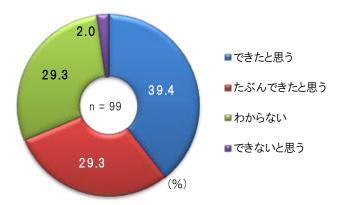
※地震発生時にしていた行動で、「ホテル等宿泊施設にいた」と回答した人のみ

<滞在中の宿泊施設の到着時の「避難」についての説明>



※地震発生時にしていた行動で、 「ホテル等宿泊施設にいた」と回答した人のみ

く滞在中の宿泊施設で事前に「避難」についての説明があればスムーズに行動できたか>



※滞在中の宿泊施設の到着時の「避難」についての説明で 「なかった」「わからない」と回答した人のみ

<地震がおさまった後の行動>

テレビやラジオで地震情報を知ろうとした

インターネットやSNSで情報を得ようとした

インターネットやメール、SNSのフェイスブックやライン等で家族や友人と連絡を取りあった

予定通り移動を始めた

家族や周りの人に声をかけた

その場で様子をみた

同行者等に連絡・相談した

ホテルのフロント等に連絡・相談した

家や建物の外に飛び出した

指示された避難所に避難した

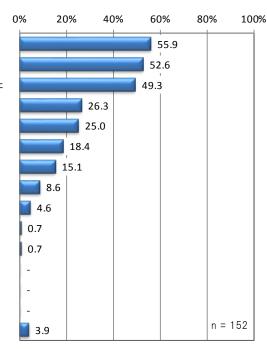
指示のない近隣の空き地などに避難した

ツアーコンダクター等に連絡・相談した

建物の中に飛び込んだ

車・オートバイ・自転車を停止させた

その他



く地震発生後に避難した場所>



◆地震発生時に困ったこと・情報源・今後の要望について

く地震発生時に困ったこと>

すべての日程が狂い多額の負担が生じた

今後の旅行日程がどうなるのか想定ができなかった

言葉がわからずどこに行けばよいかわからなかった

交通機関の情報などがわからなかった

テレビ等での地震の放送が理解できなかった

外国人向けの地震避難のマニュアルが無く行動が理解できなかった

ホテル等の指示がなくわからなかった

どのようなものを持ち出せばよいか行動がわからなかった

日本特有の地震情報が理解できなかった

スマートフォンなどでの多言語での災害・交通・避難情報が無かった

ホテル等に戻れるかどうかわからず不安だった

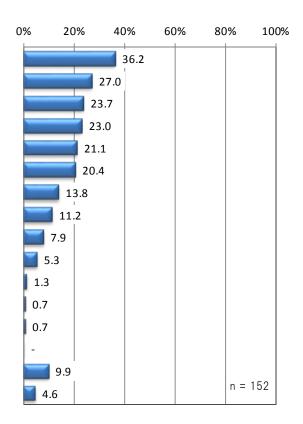
子どもや高齢者等の支援があるかわからなかった

飲料食料の配給が受けられなかった

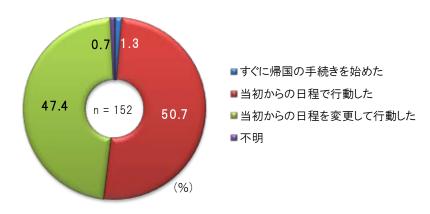
ツアーコンダクターが混乱して情報が得られなかった

その他

不明



<地震発生後の旅行日程の変更>



<避難や旅行行程などで役立った情報>

日本のテレビ・ラジオ

母国のWEB サイト

宿泊先の従業員

日本のWEB サイト

知人へ電話やメール

同行の日本語ができる人

インフォメーションセンター

日本にいる外国人のSNS などの書き込み

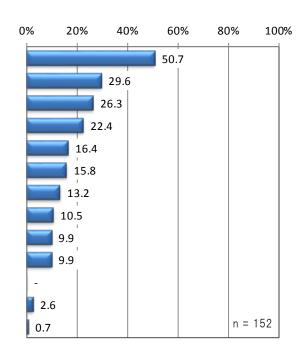
日本語の防災行政無線・広報車・消防車など

近くにいた日本人

ツアーコンダクター

その他

不明



<地震発生時に希望する対応>

スマートフォン等で災害・交通・避難情報の提供を多言語でして欲しい 母国語のマニュアルを配付してほしい

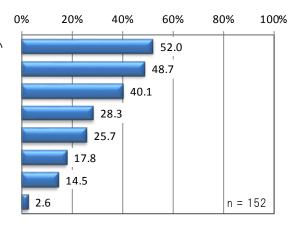
避難誘導などがわかる言語でしてほしい

テレビ等でも英語等で表示してほしい

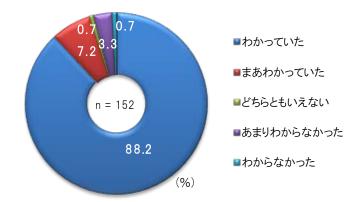
母国語等での案内サインを設置してほしい

避難してどうすれば良いかの行動を示したパンフレット等が欲しい

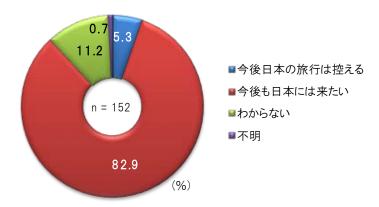
交通·飛行機の情報など説明できる案内所を設置してほしい その他



<日本は地震が多い国だということの認識>



<今回の地震経験後の今後の訪日意向>



■サーベイリサーチセンター会社概要

会社名 :株式会社サーベイリサーチセンター

• 所在地 : 東京都荒川区西日暮里 2 丁目 40 番 10 号

• 設立 : 1975 (昭和50) 年2月

• 資本金 : 6,000 万円

• 年商 : 66 億円 (平成 29 年度)

• 代表者 : 代表取締役 藤沢 昌樹、代表取締役副社長 長尾 健

社員数 : 社員 231 名、契約スタッフ 429 名 合計 660 名(平成 30 年 3 月 1 日現在)

• 事業所 : 東京(本社)、札幌、盛岡、仙台、静岡、名古屋、大阪、岡山、広島、高松、

福岡、熊本、那覇

• 所属団体:公益財団法人日本世論調査協会

一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会(JMRA)

日本災害情報学会

日本災害復興学会 など

その他 : ISO9001 認証取得(2000年6月)

プライバシーマーク付与認定(2000年12月)

ISO20252 認証取得(2010年10月)

ISO27001 認証取得 (2015年11月) ※

※認証区分及び認証範囲:MR 部が実施するインターネットリサーチサービスの企画及び提供

全国ネットワーク部が実施する世論・市場調査サービスの企画及び提供

• URL : http://www.surece.co.jp

■本件に関するお問合せ先

株式会社サーベイリサーチセンター(http://www.surece.co.jp)

広報担当:松下 正人 (src_support@surece.co.jp)

TEL: 03-3802-6779 FAX: 03-3802-6729 携帯: 090-2247-9769

●調査結果の内容については無断転載・複製を禁じます。本文を引用される場合は、出典に「株式会社サーベイリサーチセンター」を明記してください。

- ●報道発表資料に記載している情報は、発表日時点のものです。
- ●その他調査結果につきましては、当社ホームページをご覧ください。

http://www.surece.co.jp/research/

●次回、「熊本地震における訪日外国人旅行者の避難行動に関する調査」との比較版をリリースする予定です。